一般的なトラブルシューティングの解決策

この章の内容は、次のとおりです。

- トラブルシューティングのガイドライン，1 ページ
- テクニカル サポート ファイル，2 ページ
- Cisco UCS ドメインの電源の切断，5 ページ
- LDAP 設定の確認，5 ページ

トラブルシューティングのガイドライン

Cisco UCS Manager の問題、またはそれが管理するコンポーネントの問題のトラブルシューティングを行うには、次の表に記載するガイドラインに従う必要があります。

表 *1*：トラブルシューティングのガイドライン

ガイドライン	説明
リリース ノートをチェックして、この問題が既知の問題かどうかを確認する。	リリース ノートは、『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc で入手できます。
障害またはエラー メッセージのダイアログ ボックス、コンポーネントの FSM、およびその他の関連する領域のスクリーンショットを取得する。	これらのスクリーンショットは、問題が発生したときの Cisco UCS Manager の状態に関する、目に見える手掛かりになります。 コンピュータにスクリーンショットを撮るソフトウェアがない場合は、オペレーティング システムのマニュアルをチェックしてください。このような機能が含まれている場合があります。

ガイドライン	説明
問題が発生する前に自分が直接実行した手順を記録する。	画面またはキー入力を記録するソフトウェアにアクセスできる場合は、実行した手順を繰り返して、Cisco UCS Manager で発生した内容を記録します。 このようなソフトウェアを持っていない場合は、実行した手順を繰り返して、その手順およびそれぞれの手順の後に Cisco UCS Manager で発生した内容を詳しくメモします。
テクニカル サポート ファイルを作成する。	Cisco UCS ドメインの現在の状態に関する情報は、シスコ サポートにとって非常に役立ちます。そのため、問題の原因を識別するために必要な情報を頻繁に提供します。

テクニカル サポート ファイル

トラブルシューティングまたは Cisco Technical Assistance Center（Cisco TAC）の支援が必要な問題が発生した場合は、影響を受ける Cisco UCS ドメインに関する可能な限り多くの情報を収集します。 Cisco UCS Manager はこれらの情報をテクニカル サポート ファイルに出力します。このファイルをシスコに送信することができます。

テクニカル サポートファイルは、Cisco UCS ドメインの次のコンポーネントについて作成することができます。

- UCSM：Cisco UCS ドメイン全体のテクニカル サポート データが含まれます。
- シャーシ：特定のシャーシのブレード サーバ上の I/O モジュールまたは CIMC のテクニカル サポート データが含まれます。
- ファブリック エクステンダ：特定の FEX のテクニカル サポート データが含まれます。
- ラック サーバ：特定のラックマウント サーバまたはアダプタのテクニカル サポート データが含まれます。

Cisco UCS Manager CLI でのテクニカル サポート ファイルの作成

Cisco TAC に送信できる、Cisco UCS ドメインに関する情報を出力するには、**show tech-support** コマンドを使用します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# **connect local-mgmt** {**a** | **b**}	ローカル管理モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A(local-mgmt) # **show tech-support** {**chassis** *chassis-id* { **all** | **cimc** *slot* [**adapter** *adapter-id*] | **iom** *iom-id*} | **ucsm**} [**brief** | **detail**]	選択したオブジェクトに関する情報をファイルに出力します。このファイルを Cisco TAC に送信できます。
ステップ 3	UCS-A (local-mgmt) # **copy workspace:techsupport/***filename.tar* {**scp** | **ftp**}**:** *user_name@IP_address*Enter *username*'s password: *password*	SCP または FTP を使用して、出力ファイルを外部の場所にコピーします。 SCP および FTP コマンドにはコピー先の場所の絶対パスが必要です。 homeディレクトリのパスには、「~」などの特殊記号を含めることはできません。

Cisco UCS Manager GUI でのテクニカル サポート ファイルの作成

（注） Cisco UCS Manager Release 1.4(1) よりも前のリリースでは、Cisco UCS Manager CLI でのみテクニカル サポート ファイルを作成できました。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインの [Admin] タブをクリックします。

ステップ 2 [Admin] タブで [ALL] をクリックします。

ステップ 3 [Work] ペインで、[Create and Download Tech Support] をクリックします。

ステップ 4 [Create and Download a Tech Support File] ダイアログボックスの [Path] フィールドで、テクニカル サポート ファイルを作成する場所のフル パスを入力します。
このパスはローカルでアクセスできる必要があります。 パスが不明である場合は、[Browse] ボタンをクリックして場所にナビゲートします。

ステップ 5 [Options] 領域で、次のオプション ボタンのいずれかをクリックします。

オプション	説明
ucsm	Cisco UCS ドメイン全体のテクニカル サポート データが含まれるファイルを、指定されたディレクトリに保存します。

オプション	説明
ucsm-mgmt	Cisco UCS 管理サービスのテクニカル サポート データが含まれるファイルを、指定されたディレクトリに保存します。
chassis	指定されたシャーシ内の CIMC または I/O モジュールのいずれかのテクニカル サポート データが含まれるファイルを保存します。 このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI には次のフィールドが表示されます。 • [Chassis ID] フィールド：テクニカル サポート データを取得するシャーシ。 • [CIMC] オプション ボタン：このオプションを選択すると、CIMC のテクニカル サポート データを取得できます。 シャーシ内の 1 つのサーバのデータを取得するには、そのサーバの ID を [CIMC ID] フィールドに入力します。 シャーシ内のすべてのサーバの CIMC データを取得するには、このフィールドに all と入力します。 • [IOM] オプション ボタン：このオプションを選択すると、I/O モジュールのテクニカル サポート データを取得できます。 シャーシ内の 1 つの I/O モジュールのデータを取得するには、モジュールの ID を [IOM ID] フィールドに入力します。 シャーシ内のすべての I/O モジュールのデータを取得するには、このフィールドに all と入力します。
fabric-extender	ファブリック エクステンダのテクニカル サポート データが含まれるファイルを、指定されたディレクトリに保存します。 このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI には [FEX ID] フィールドが表示されます。このフィールドでは、テクニカル サポート データを取得する FEX の固有識別子を入力できます。
rack-server	C シリーズ サーバのテクニカル サポート データが含まれるファイルを、指定されたディレクトリに保存します。 このオプションを選択すると、Cisco UCS Manager GUI には次のフィールドが表示されます。 • [Rack Server ID] フィールド：テクニカル サポート データを取得するラック サーバの固有識別子。 • [Rack Server Adapter ID] フィールド：テクニカル サポート データを取得するアダプタの固有識別子。 サーバ内のすべてのアダプタのデータを取得するには、このフィールドに all と入力します。

ステップ 6 [OK] をクリックします。

Cisco UCS ドメインの電源の切断

たとえば、計画停電の一環として、Cisco UCS ドメイン全体の稼働を中止できます。

手順

ステップ 1 設定バックアップを作成します。
詳細については、使用している Cisco UCS Manager のリリース用の Cisco UCS Manager コンフィギュレーション ガイドを参照してください。 コンフィギュレーション ガイドは、『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』を参照してください。http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc で入手できます。

ステップ 2 インストールされているオペレーティング システムから、すべてのブレードまたはラック サーバの電源を正常に切断します。
サーバ上の OS から、または Cisco UCS Manager を使用して、サーバの電源を切断できます。

ステップ 3 すべてのサーバの電源を切断してから、シャーシの電源またはラック サーバの電源を取り外します。
サーバの電源を切断すると、電源 LED が緑色ではなくオレンジ色になります。

ステップ 4 次の順序で電源コードを取り外して、各ファブリック インターコネクトの電源を切断します。

- 従属ファブリック インターコネクトを取り外します。
- プライマリ ファブリック インターコネクトを取り外します。

LDAP 設定の確認

（注） この手順は、Cisco UCS Manager CLI を使用した場合にのみ実行できます。

Cisco UCS Manager CLI の **test** コマンドにより、Lightweight Directory Access Protocol（LDAP）プロバイダーまたは LDAP プロバイダー グループの設定が確認されます。

LDAP プロバイダー設定の確認

（注） **test aaa server ldap** コマンドにより、LDAP グローバル設定に関係ない、サーバ固有の設定を確認できます。 このコマンドでは、LDAP プロバイダー レベルで設定された、ベース DN、フィルタ、属性、およびタイムアウトの値を使用します。 プロバイダー レベルのベース DN またはフィルが空である場合は、LDAP 検索が失敗します。

test aaa server ldap コマンドを入力すると、次のように Cisco UCS Manager が LDAP プロバイダーと通信できる場合には、次の情報を確認できます。

- 正しいユーザ名とパスワードが指定されている場合、サーバは認証要求に応答します。
- LDAP のユーザ オブジェクトに対して定義されたロールとロケールがダウンロードされます。
- LDAP グループ許可がオンになっている場合、LDAP グループがダウンロードされます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**connect nxos**	nxos モードを開始します。
ステップ 2	**test aaa server ldap**	LDAPプロバイダー設定を確認します。

応答の例を次に示します。

```
UCS-A# /security # connect nxos
UCS-A#(nxos)# test aaa server ldap 10.193.23.84 kjohn Nbv12345
user has been authenticated
Attributes downloaded from remote server:
User Groups:
CN=g3,CN=Users,DC=ucsm  CN=g2,CN=Users,DC=ucsm  CN=group-2,CN=groups,DC=ucsm
CN=group-1,CN=groups,DC=ucsm  CN=Domain Admins,CN=Users,DC=ucsm
CN=Enterprise Admins,CN=Users,DC=ucsm  CN=g1,CN=Users,DC=ucsm
CN=Administrators,CN=Builtin,DC=ucsm
User profile attribute:
shell:roles="server-security,power"
shell:locales="L1,abc"
Roles:
server-security power
Locales:
L1 abc
```

LDAP プロバイダーのグループ設定の確認

（注） **test aaa group** コマンドにより、LDAP グローバル設定に関係ない、グループ固有の設定を確認できます。

test aaa group コマンドを入力すると、次のように Cisco UCS Manager が LDAP グループと通信できる場合には、次の情報を確認できます。

- 正しいユーザ名とパスワードが指定されている場合、サーバは認証要求に応答します。
- LDAP のユーザ オブジェクトに対して定義されたロールとロケールがダウンロードされます。
- LDAP グループ許可がオンになっている場合、LDAP グループがダウンロードされます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**connect nxos**	nxos モードを開始します。
ステップ 2	**test aaa group**	LDAP グループ設定を確認します。

応答の例を次に示します。

```
UCS-A# /security # connect nxos
UCS-A#(nxos)# test aaa group grp-ad1 kjohn Nbv12345
user has been authenticated
Attributes downloaded from remote server:
User Groups:
CN=g3,CN=Users,DC=ucsm  CN=g2,CN=Users,DC=ucsm  CN=group-2,CN=groups,DC=ucsm
CN=group-1,CN=groups,DC=ucsm  CN=Domain Admins,CN=Users,DC=ucsm
CN=Enterprise Admins,CN=Users,DC=ucsm  CN=g1,CN=Users,DC=ucsm
CN=Administrators,CN=Builtin,DC=ucsm
User profile attribute:
shell:roles="server-security,power"
shell:locales="L1,abc"
Roles:
server-security power
Locales:
L1 abc
```